

本校における情報Ⅰの実施に向けての取り組み

富山県立南砺福野高等学校

森田 大翔

1 主題設定の理由

初めて情報の授業を担当

(ここ数年は数学か理科の教員が担当)

2022年度から「情報Ⅰ」がスタート

2025年共通テストの出題教科に

⇒準備・研究が必要！！

2 研究の内容

- ① 南砺福野高校の現状について
- ② 「情報 I」を実施するための準備・課題について
- ③ 昨年度「社会と情報」で実施したプログラミング学習について

2 研究の内容

- ① 南砺福野高校の現状について
- ② 「情報Ⅰ」を実施するための準備・課題について
- ③ 昨年度「社会と情報」で実施したプログラミング学習について

① 南砺福野高校の現状について

普通科4学級・国際科・農業環境科・福祉科各1学級

普通科・国際科の約半数が国公立大学に進学

「社会と情報」は1年次で実施

・基本的なPCスキル ・PC室の使い方 ・教育用クラウドサービスの操作 など

普通教室のネット環境○

生徒が慣れているのはスマホでのSNSやゲーム

① 南砺福野高校の現状について

共通テストを見据えた授業準備と情報収集が急務

数学・理科教員が情報を担当

来年度より「情報Ⅰ」実施

2 研究の内容

- ① 南砺福野高校の現状について
- ② 「情報Ⅰ」を実施するための準備・課題について
- ③ 昨年度「社会と情報」で実施したプログラミング学習について

② 「情報Ⅰ」を実施するための準備・課題について

(ア) 現行の「社会と情報」との相違点

(イ) 共通テストについて

② 「情報Ⅰ」を実施するための準備・課題について

(ア) 現行の「社会と情報」との相違点

(イ) 共通テストについて

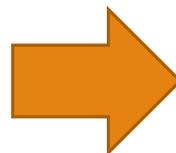
② (ア) 現行の「社会と情報」との相違点

・ 現行の学習指導要領

【社会と情報】(2単位)

- (1) 情報の活用と表現
- (2) 情報通信ネットワークとコミュニケーション
- (3) 情報社会の課題と情報モラル
- (4) 望ましい情報社会の構築

※選択必修科目



・ 新学習指導要領

【情報 I】(2単位)

- (1) 情報社会の問題解決
- (2) コミュニケーションと情報デザイン
- (3) コンピュータとプログラミング
- (4) 情報通信ネットワークとデータの活用

※共通必修科目

② (ア) 現行の「社会と情報」との相違点

社会と情報	情報 I
(3) 情報社会の課題と情報モラル (4) 望ましい情報社会の構築	(1) 情報社会の問題解決 大きな変化はほとんどない
(1) 情報の活用と表現 (2) 情報通信ネットワークとコミュニケーション	(2) コミュニケーションと情報デザイン ・情報デザインの役割 ・情報デザインの考え方を活かしたコミュニケーション ・コンテンツ制作、評価・改善 が新規またはより深い理解が求められる内容
	(3) コンピュータとプログラミング ・プログラミング ・アルゴリズムの比較 ・確率モデル ・モデル化とシミュレーション が新規またはより深い理解が求められる内容
(2) 情報通信ネットワークとコミュニケーション	(4) 情報通信ネットワークとデータの活用 ・データの表現 ・データの収集と整理 ・データの分析と評価 が新規またはより深い理解が求められる内容

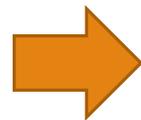
② (ア) 現行の「社会と情報」との相違点

「情報 I」(1)

⇒ 大きな変化はない

「情報 I」(2)(3)(4)

⇒ 新しい内容やより深い内容多くあり



(3) コンピュータとプログラミングの対応

数学、公民などの他教科との連携が必須

② 「情報Ⅰ」を実施するための準備・課題について

(ア) 現行の「社会と情報」との相違点

(イ) 共通テストについて

② (イ) 共通テストについて

- 試験時間60分
- 新課程と現行課程の出題(得点調整の対象)
- 問題の方向性、実施要項が公表予定(大学入試センターより)
- 第一次試験として原則「情報」を加えた6教科8科目を課す(国立大学協会より)
- 国立10数校が取り扱いを公表(公立も複数)(8月現在)
- 大問は3つ(すべて必答)プログラミングは疑似言語、問題解決の場面で思考・判断を要する問題

② (イ) 共通テストについて

富山大学「情報Ⅰ」の扱い

学部	「情報Ⅰ」の扱い	
	共通テスト	個別学力検査
人文学部	必須(前・後)	なし
教育学部	必須(前・後・総合型・学校推薦)※スポーツ実技型を除く	なし
経済学部	必須(前・後・総合型)※夜間後期は選択	なし
理学部	必須(前・後・総合型・学校推薦)	なし
医学部	必須(前・後・総合型・学校推薦)	なし
薬学部	必須(前・後)	なし
工学部	必須(前・後・総合型・学校推薦)	なし
芸術文化学部	選択(前・後)	なし
都市デザイン学部	必須(前・後・総合型)	なし

② (イ) 共通テストについて

全国の「情報Ⅰ」実施状況

- ・高1で実施(約6割)
- ・高3で受験対策(約5割)
- ・「情報Ⅱ」開講予定なし(約8割)

(ベネッセコーポレーション「教科に関するアンケート」より)

2 研究の内容

- ① 南砺福野高校の現状について
- ② 「情報Ⅰ」を実施するための準備・課題について
- ③ 昨年度「社会と情報」で実施したプログラミング学習について

③ 昨年度「社会と情報」で実施したプログラミング学習について

- ・アルゴリズム(一般社団法人 電子産業技術協会 JEITA)
- ・表計算マクロ

③ 昨年度「社会と情報」で実施したプログラミング学習について

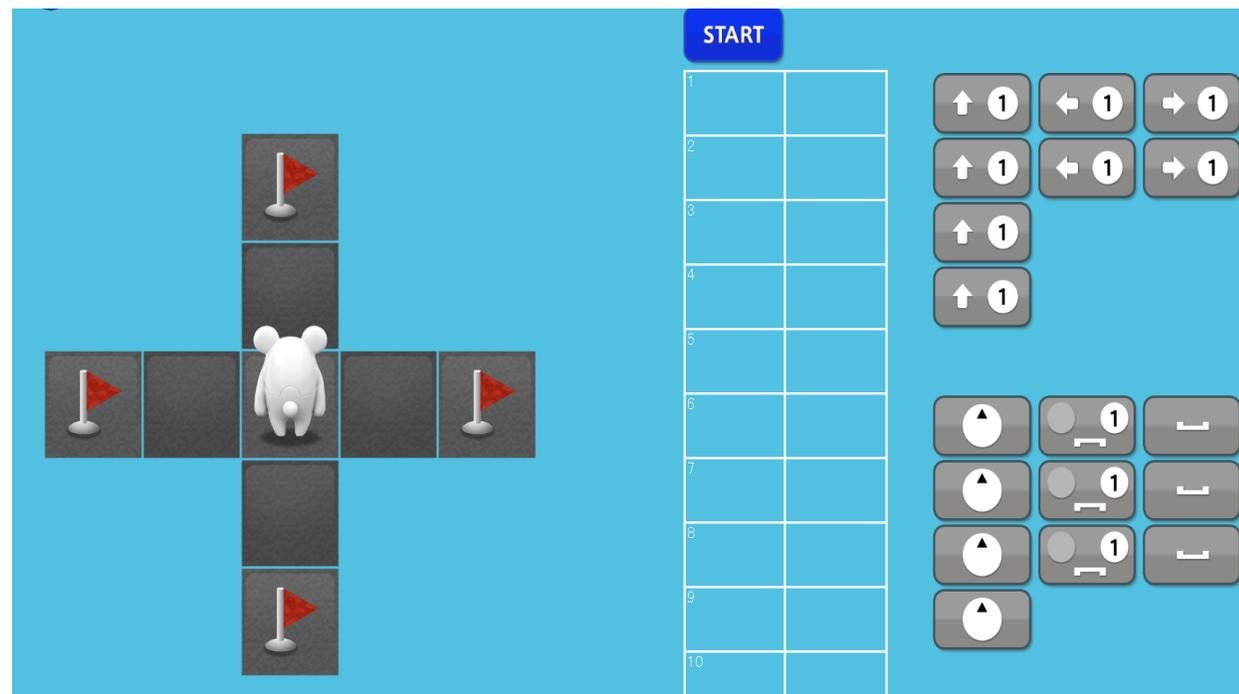
・アルゴロジック(一般社団法人 電子産業技術協会 JEITA)



プログラミングの基本を簡単学習!
アルゴロジックとは?

ゲーム感覚でプログラミングを体験するための
「課題解決型ゲームソフト」です。

プログラムに触れたことのない未経験者から上級者
まで、楽しみながら取り組むことができ、プログラ
ミング的思考力の育成に役立ちます。



③ 昨年度「社会と情報」で実施したプログラミング学習について

授業を終えて

- △ 私自身の知識・技術不足
- △ コードを伝えるだけのような授業展開
- △ 有用性・汎用性が伝わらない

- 生徒が先生役に(教えあい・学びあい)

3 研究の成果と課題

- これまでのノウハウや経験を活かせる場面あり
- 他教科との連携
- 生徒とともに学んでいく姿勢

- △ 専門的な知識をもつ教員の必要性
(専門的かつ高度な内容、共通テストを見据えた指導)

ご清聴ありがとうございました
